

第3学年 社会科「地域に根ざし、受け継がれる鎌田醤油工場の業」

学習指導者 滝井 康隆

<p>主張点</p>	<p>身近な醤油を生産している工場を取り扱い、子供の興味関心に沿って学習を進めました。また、醤油造りの様子を調べた後、時間的視野を広げることで、古くから地域の生活と深く関わる産業であることに気付かせ、地域住民に必要とされる商品を作り続け、長く愛され続けていることを捉えられるようにしました。</p>
<p>前時までの学び</p>	<p>坂出市の工場分布を調べ、醤油工場の多さに気付き、原料の入手のしやすさを捉えていきました。工場を見学し、醤油造りの工程を調べるうちに、鎌田醤油の二つの工場に気付き、港工場と本社工場の役割の違いを調べていきました。</p>
<p>〈課題設定以前〉</p> <p>1 学習課題を確認する。</p> <p>.....</p> <p>〈課題解決中〉</p> <p>2 本社工場が町中にある理由を予想する。</p> <p>3 本社工場が町中にある理由を、年表や地図を基に考え、話し合う。</p>	<p>クリップボード（補助黒板）を使って、前時の学習を振り返る課程で、工場の周りの道が広く、高速道路や港にも近いため、原料や商品の輸送に便利な港工場で多くの醤油を生産しているにもかかわらず、本社工場でも醤油の生産をしていることに疑問を感じていきました。</p> <div data-bbox="419 887 866 1066" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="887 887 1402 1048" data-label="Text"> <p>本社工場は町中にあり、港工場と違って周りの道が狭く、トラックが通りにくはずなのに、醤油生産をしていることが不思議です。</p> </div> <div data-bbox="427 1077 1394 1167" data-label="Text"> <p>学習課題：本社工場は、なぜ町中にあるのだろう</p> </div> <p>学習課題に対する自分の考えを付箋紙に書き、話し合いボードに貼り付けていきました。その後、友達と話し合いながら同じ内容の付箋をまとめたり、そう考える理由を聞いたりして、考えをつくっていきました。その後の全体交流で出された、「昔からそこにあっただのではないか」という意見を基に、年表や昔の地図を使って、もう一度本社工場が町中にある理由について話し合いボードを使って考えていきました。</p> <div data-bbox="440 1447 815 1615" data-label="Text"> <p>今は、本社工場の周りにたくさん家があって、人が多いから、たくさん買ってくれるのではないかな。</p> </div> <div data-bbox="815 1402 987 1626" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1011 1447 1402 1592" data-label="Text"> <p>昔の地図を見たら、昔から周りに家がたくさんあるよ。近くに塩田もあって原料も手に入りやすかったのだね。</p> </div>
<p>〈課題解決後〉</p> <p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>学習課題に対して本時分かったことをまとめた後、振り返りの時間をとりました。自分の考えが変わったかどうかと、変わった（変わらなかった）理由を記述するために、振り返りカードを使って、本時の学びを振り返るよう促しました。</p> <div data-bbox="419 1709 663 1872" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="616 1839 1382 1877" data-label="Text"> <p>考えが変わったよ。昔の坂出の地図の海の部分を見たからだよ。</p> </div>
<p>考察</p>	<p>自分の考えをつくったり、話し合ったりする時間が短く、班での話し合いで十分深められなかった。また、既習事項に基づいて考えをつくること、根拠をもって話し合うことを共通理解しておくことも考えを深める前提条件である。</p>